

お父さんありがとう

下間 康聖

「今日の練習はこんなことがあったよ……。」

「バッティングでさ……。」

「ピッチングでね……。」

「こういう時はどうしたらいいの?」

家の夜の食卓で毎日のようにとび交う会話は野球のことばかりです。

僕は小学三年生から野球を続けています。始めたきつかけは兄二人も野球をしていてそのえいきょうが大きいです。

お父さんは幼い頃から社会人野球まで野球経験があり、どんな時も練習につき合ってくれました。昨年までは僕が所属するスポ少のコーチをしていつも一緒に野球ができたけど今年が一番上の兄が高校に入学したため、高校野球のコーチになりスポ少の指導にはあまり来れなくなってしまいました。雨の日も風の日もいつもそばで熱心に色々なことを教えてくれて、心強かったけど、今年は兄の方へ行くことが多く、がっかり思うこともあるけど、その分家に帰って疑問に思うこと、納得いかないことを実際に体をつかって質問したりし

ます。どんなに仕事で帰りがおそく疲れていても質問したことに對して何でも真面目に答えてくれるし、自ら手本を示して教えてくれるお父さんが、僕の自慢です。

本当はスポ少にたくさんきてほしいです。でも高校や中学校にいる兄達にもいかなきゃならないこと、よく分かるので、僕は家で教えてもらったことを頭にたたきこんで、スポ少でがんばっています。そして今年僕は学童の秋田市選抜に決まりました。もつと練習をがんばり、よりレベルの高い仲間達と頂点を目指したいです。

忙しすぎるお父さん!

休日返上で僕達三兄弟のために朝早くから夜おそくまでの指導本当にありがとう。

真つ黒に日焼けをして疲れ果てて月曜朝、仕事に向かうお父さんのうしろすがたを見ては感謝の気持ちがあふれてきます。

なかなか言葉に出しては照れくさくて言えないけど、この恩はいつか絶対、野球で返すからね!!